

海外安全対策情報（令和6年（2024年）4から6月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

（1）ビクトリア州

イスラエル－パレスチナ間の紛争に関係したパレスチナ支持派の抗議活動が、過激化する傾向にあり注意が必要である。以下は主なその概要。

・5月上旬、パレスチナ支持派による抗議グループがメルボルン複数の大学構内にテントを張り、退去を促されるものの10日間に渡り留まり続けた。

・5月19日、イスラエル支持派とパレスチナ支持派による抗議グループの集会参加者双方が市内で衝突、6名が逮捕されている。

・5月31日、抗議活動が議員事務所とアメリカ総領事館の窓ガラスを破壊する事態へと発展している。

・6月2日、フリンダース駅前の通りにコンクリートと砂利を投棄したトラックを運転していた男性が逮捕されている。また、州議事堂前では警備中の警察車両を破壊、トラムにより登り複数の交差点を封鎖する事態に発展している。

抗議活動はエスカレートする傾向にあるため、デモを認知した際には、何らかのトラブルに巻き込まれる可能性も排除されないため、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

一般犯罪において、家屋への侵入盗が急増している。手口として夜間に家屋へ侵入、車の鍵と車両が盗まれる被害が多発しており、10代のグループによる犯罪と見られており、戸締り、セキュリティカメラの設置等の防犯対策を含めた注意が必要である。また、窃盗犯が前年同期比で17%増加しており、物価上昇による生活費へのプレッシャーが要因となっている可能性があるとして犯罪統計局は発表している。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害	47,290	0%
強盗	3,180	+1%
住居侵入	39,856	+3%
窃盗	181,665	+17%

（2）南オーストラリア州

パレスチナ支持派による抗議活動が、州議会議事堂、アデレード大学等で行われており、6月には、アデレード大学における抗議グループの出入りを禁止する措置が執られている。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害（除くDV）	23,350	+10%
強盗	840	-15%
窃盗	57,270	+9%

(3) タスマニア州

犯罪統計	件数	
暴行・傷害	5,533	+11%
侵入窃盗（住居）	1,115	+5%
侵入窃盗（店舗対象）	658	+6%

2 邦人被害

一般犯罪

- (1) ビクトリア州ブランズウィックの Park Street で携帯電話を手で一人で歩行中、10 代と思われる若い 3 人組に、携帯を渡すよう脅迫され、拒否したところカバンの中にナイフを所持していると更に脅迫され、殴りかかってきたが、自宅へ逃げた強盗未遂事件が発生。
- (2) ビクトリア州ミルデュラにてシェアハウスにおける空き巣被害や駐車場での車上荒らし被害を複数件受けているところ、防犯対策等の注意が必要である。
- (3) 在宅ワーク（レストラン・旅行のレビューを書いて投稿するなど）をするのに必要と言われ、指定された仮想通貨に換金して振り込む手口のオンライン詐欺被害の報告を複数受けているところ、引き続き詐欺被害に対する警戒が必要である。

3. テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件の発生状況 2022 年 11 月 28 日以降、豪州のテロの脅威レベルは「可能性有り（Possible）」へ段階を下げています。しかしながら、テロの脅威がなくなったわけではなく、国内外を問わずテロリストの活動は懸念されているため、今後も継続的にテロに関連した最新の情報の入手に努めてください。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

一般的に対日感情は良好とされ、日本企業等の安全に関わる諸問題については認知していない。他方、令和 5 年中に、我が国に対する抗議デモ（ALPS 処理水の海洋放出）が行われている。今後も我が国の政策や社会情勢に応じて抗議活動が活発化する可能性も否定できないことから、これらの動向には引き続き注意が必要である。

※統計は、VIC 州犯罪統計局（統計期間：2024 年 1 月から 3 月まで）、SA 州警察、TAS 州警察の公表に基づく（統計期間：2023 年 5 月から 2024 年 4 月まで）。